

令和7年3月記者発表

質疑応答の概要

①～富谷市独自支援策～割増商品券事業「とみや応援3割増商品券」の販売

Q.

割増商品券について、どのように活用してほしいなど市長の思いがあればお聞かせください。

A.市長

今回の割増商品券については、現在、物価や燃料費の高騰など、あらゆるものが高くなっていますので、まずは生活者の支援というところが一番大きいです。また、地域経済の活性化ということでこの事業を進めているので、可能であれば地域の小さな商店でもご活用いただけるとさらにありがたいなと思っております。

②富谷市地域公共交通計画の策定

Q.

主な取り組みの中に都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査とありますが、この都市型自走式ロープウェイの利点や良さと、導入可能性調査でどういった点を見極めていきたいか教えてください。

A.市長

導入可能性調査については、導入可能かどうか、導入可能であればどういった経路で実施できるのかということや実際の整備費用や期間、整備するにあたっての課題の抽出などが今回の調査項目となっています。今後に向けて、まずは導入可能かどうかというところが一番重要だと感じており、その中で出てきた課題を明確にしていきたいと考えております。

また、整備費用や期間などが地下鉄やBRTに比べ圧倒的に少ない点が都市型自走式ロープウェイの大きな利点だと考えております。さらに、すべて自動運転となるので、現在全国的な課題となっているバスの運転手不足を解消する点においても大きな効果があると思っております。また、EV（電気を動力にして動く車両）である都市型自走式ロープウェイは走行時にCO₂を排出しないので、ゼロカーボンシティを目指している本市としてはCO₂削減にとっても期待しているところです。市が必要とする輸送能力についても、推計からいくと泉中央から明石台までの乗車総定数は2,300人となっており、都市型自走式ロープウェイは十分に輸送能力を果たせるのでこちらも期待できると考えています。

Q.

パークアンドバスライド、サイクルアンドバスライドやバスロケーションシステムについて、目的や効果などを教えてください。

A.市長

これまでも本市の「都市・地域総合交通戦略」の中で掲げてきた戦略の一つの中に含まれて

おりましたが、今回、改めて積極的にこの事業を推進することとなりました。パークアンドバスライドとサイクルアンドバスライドは、結節点であるイオンモールまで自動車や自転車で来ていただき、そこからバスに乗り継いでいただくというシステムなので、なるべく多くの皆さんに活用いただきたいと思っております。これまでも行ってきた事業ですが、なかなか周知されていなかったもので、今回改めて積極的に取組の周知を強化したいと考えております。今回初めて導入するバスロケーションシステムについては、経緯といたしまして、これまで市民バスご利用の方々から今実際にどのあたりを走っているのか分かることができるとも便利という声をたくさんいただいております。スマートフォンを活用して、現段階でバスがどのあたりを走っているのか、到着時間が何分後なのかがわかりますので、市民バス利用向上に向けて大きな効果があると考えております。

Q.

ロープウェイの導入可能性調査について、この調査は4月からとありますが、具体的な日付は決められているのでしょうか。

A. 企画政策課 交通政策推進室長

令和7年度富谷市都市型ロープウェイの導入可能性調査の委託につきましては、4月4日が締め切りとなっております契約等審査委員会に付議する予定でございます。

Q.

4月4日に調査がいつから始まるのかが決まるということでしょうか。

A. 企画政策課 交通政策推進室長

調査を委託するための事務を始めるものを4月4日までに付議し、その後契約等審査委員会が開催され、契約方式について正式に決定する形となっております。

Q.

具体的な実地調査についてはまだ先になるというイメージでよろしいでしょうか。

A. 企画政策課 交通政策推進室長

具体的な調査につきましては、業務委託を契約した後に、実際に現地に入り、調査のための準備の打ち合わせをするといった形になります。見通しといたしましては、5月に契約して、その後実際に調査がスタートすることとなっております。

Q.

実地調査が行われる場合、市長が立ち会う場合はあるのでしょうか

A. 市長

必要があれば立ち合いますが、今のところ予定はありません。

Q.

明石台のどのあたりを調査するというのは、すでに決まっているのでしょうか。

A. 企画政策課 交通政策推進室長

泉中央駅から明石台の商業施設が集まっている辺りまでを調査することを想定しています。

③令和7年4月1日付け人事異動（内示）

Q.

女性管理職の割合が34.1%のうち部長職が8人中4人ということですが、これは女性の割合として過去最高でしょうか。また、この数値になったことについての市長の所感をお聞かせください。

A.市長

どちらも過去最高でございます。本市におきましては、これまでも積極的に男女共同参画、あわせて女性活躍の推進を全庁挙げて取り組んでまいりました。その結果として、審議会等委員に占める女性の割合が3年連続全国すべての自治体の中で第1位ということで、57.3%となっています。そういった中で、職員の管理職も可能な限り男女同数を目指して比率を高めてきたところでございます。年々女性の管理職の割合が高まっており、特に今回部長職については、8人中4人が女性になったことは、大きなことだと感じております。これからも女性活躍を推進し、男女それぞれの視点を有効に生かしながら、全庁挙げて一つ一つの施策に取り組んでいきたいと思っております。なお、職員数はすでに女性の方が多くなっております。

④保育所等における待機児童ゼロ（令和7年4月1日現在）の6年連続達成

Q.

令和7年度の定員は1,212人とありますが、実際の入所申請数を教えてください。また、民間の保育事業者との協力で達成できたということでしたが、それ以外にも市長の所感があればお聞かせください。

A. 保育統括監

入所申請数は1,131名です。

A. 市長

本市の場合は、毎年入所希望者が増えている自治体であります。民間の事業者の皆さんのご理解があり、待機児童ゼロを達成できているところでございます。保育士不足も大きな課題となっている中で、支援を必要とする子供たちが増えていることや、本市が子供にやさしいまちづくりを掲げていることを民間の事業者の皆さんにも理解して引き受けていただいていることは、とてもありがたいなと感じています。しかし、年度当初は達成できておりますが、年度途中からは受け入れができていない場合があるので、そちらは課題であると考えております。

⑥第8期「富谷塾」塾生募集及び開塾式の開催

Q.

第8期の申込者数は現時点で何名ぐらいいるのでしょうか。

A. 産業観光課長

現在64名から申込があり、そのうち新規が9名、継続が54名、再入塾が1名となっております。

ります。